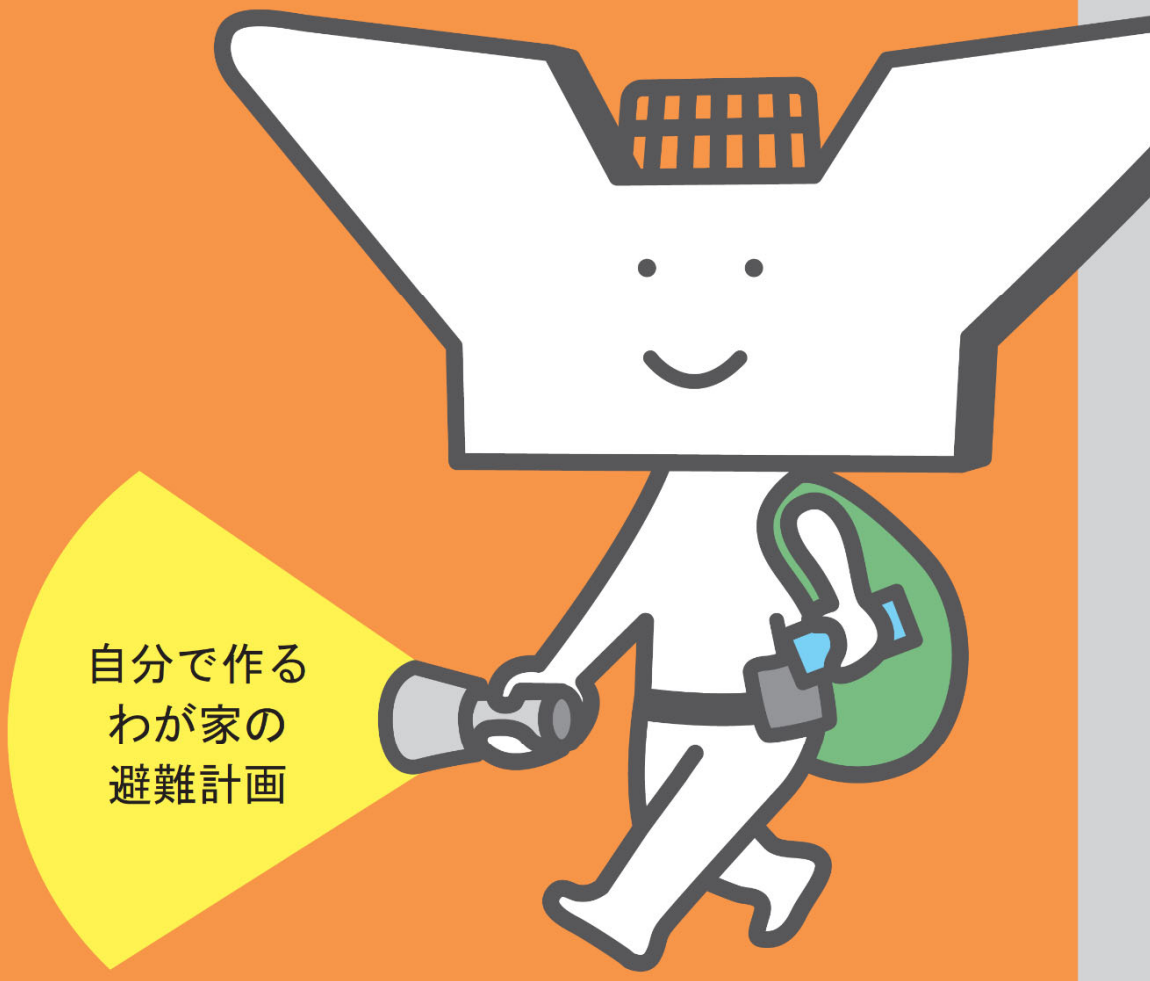
土砂災害
マイ・ハザードマップ
作成説明書



My hazard map

愛知県

土砂災害マイ・ハザードマップ作成説明書　目次

Ⅰ．土砂災害マイ・ハザードマップとは

1. 土砂災害マイ・ハザードマップとは？・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P.1
2. なぜマイ・ハザードマップが必要なのか？・・・・・・・・・・・・・・・・・P.1
3. マイ・ハザードマップ完成イメージ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P.2

Ⅱ．マイ・ハザードマップを作成しよう！

1. 準備するもの・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P.3
2. 作成する前に・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P.4
3. 台紙に自宅周辺の地図を貼ろう！・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P.5
4. 地図に自宅からの避難場所までの経路を書こう！・・・・・・・・・・・・・P.11
5. タイムラインの部分を作成しよう！・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P.17

Ⅲ．マップの活用

1. 避難訓練の実施・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P.23
2. マイ・ハザードマップを作成したあとは？？・・・・・・・・・・・・・・・・P.23

リンク集・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P.24

参考（キキクルで自宅周辺の危険度を調べよう！）・・・・・・・・・・・・・・P.24

愛知県における土砂災害の事例・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P.25

○ガイダンス動画の紹介

マイ・ハザードマップの作成ポイントを紹介している動画もありますので、下記 QR コードを読み取り、参考にしてください。

Ⅰ．土砂災害マイ・ハザードマップとは

1. 土砂災害マイ・ハザードマップとは？

- 土砂災害マイ・ハザードマップ（以降、「マイ・ハザードマップ」という）とは、台風や前線の接近に伴い土砂災害発生の危険度に応じて、自分自身がとるべき準備行動や、自宅から避難する場所や経路について記載した世帯ごとに作成する防災地図です。

- マイ・ハザードマップは、災害の発生への備えとして、事前に取るべき行動を「いつ」「何をするか」を時系列で整理した「タイムライン」の部分と、自宅から避難場所までの経路と危険な場所等を記入した「地図」の部分の二つで構成されています。

2. なぜマイ・ハザードマップが必要なのか？

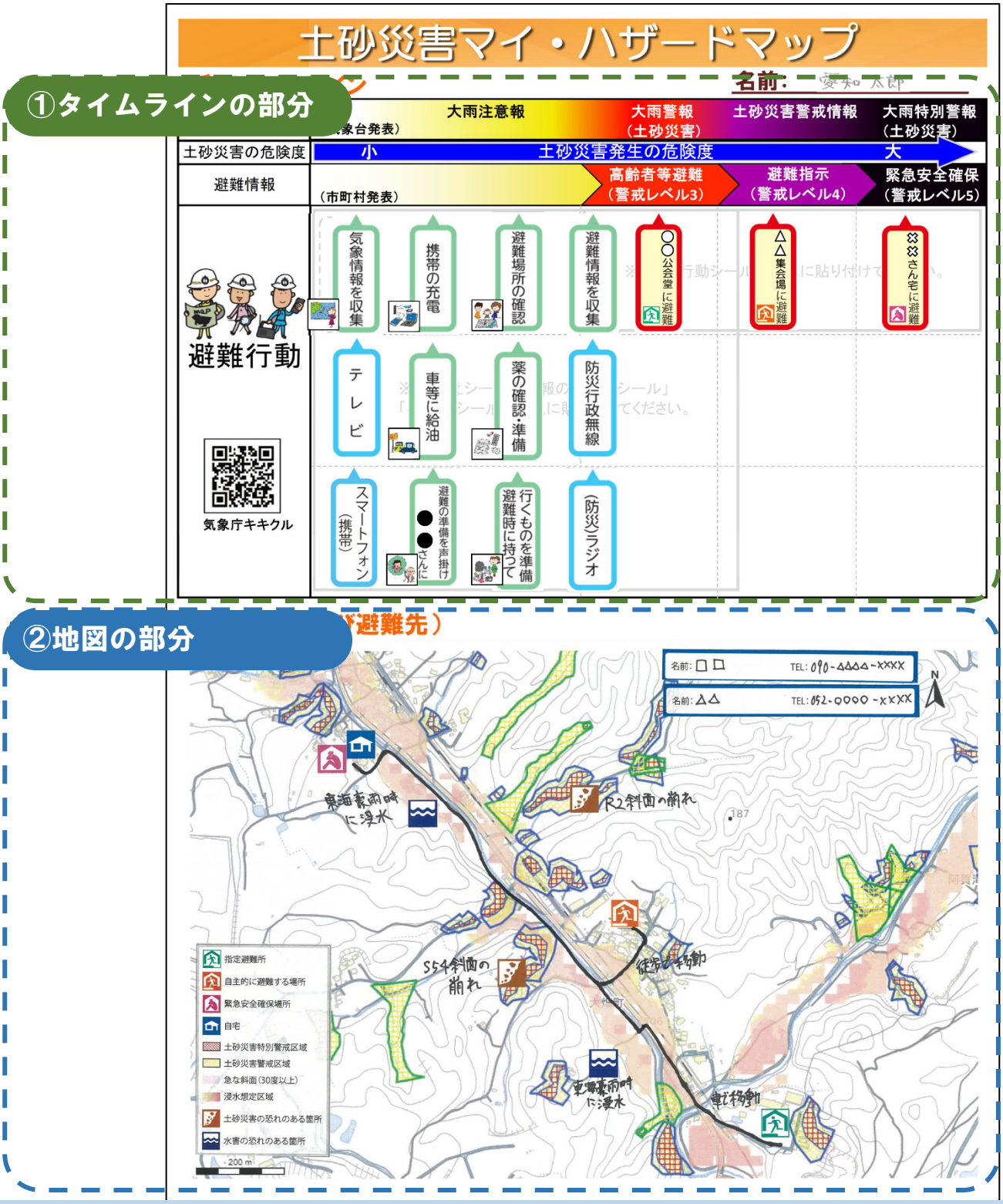
- 近年、局所的な豪雨や長雨により土砂災害が増加し、全国各地で多数の被害が出ています。土砂災害から身の安全を守るためには、安全な場所への早めの避難と日頃からのそなえが重要です。

- 自宅から安全な場所への距離、移動するスピードは人それぞれです。家族構成や生活環境を踏まえて、自分自身への土砂災害のリスクを把握し、余裕をもって避難を開始する必要があります。

- そこで、自分のとるべき行動をあらかじめマイ・ハザードマップとして整理することで、適切な避難を行うことができます。

3. マイ・ハザードマップ完成イメージ

①タイムラインの部分
土砂災害の危険度に応じて、あなたが取るべき行動を、「いつ」「何をするか」で整理します。



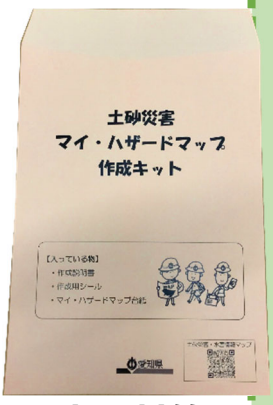
②地図の部分
自宅から避難場所までの避難経路と、気を付けるべき危険な箇所を記入し、安全に避難できるように整理します。

Ⅱ. マイ・ハザードマップを作成しよう！

1. 準備するもの

（１）マイ・ハザードマップ作成キット

専用封筒の中には、①～③のものが入っています。



専用封筒

①説明書（本冊子）

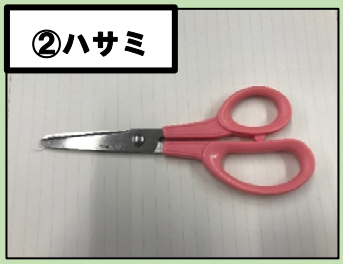
②作成用シール

③マイ・ハザードマップ台紙（A3）

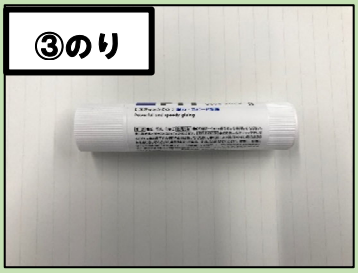
（２）用意していただくもの

①ボールペン（黒）
マジックペン（黒または赤）

②ハサミ

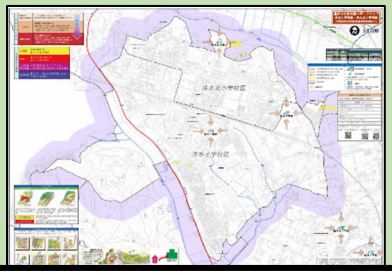


③のり



④パソコンとプリンター

もしくは



④市町村が配布しているハザードマップ

2. 作成する前に

（１）本書の見方

- マイ・ハザードマップの作成方法を説明しますが、以下に注意してください。

解説

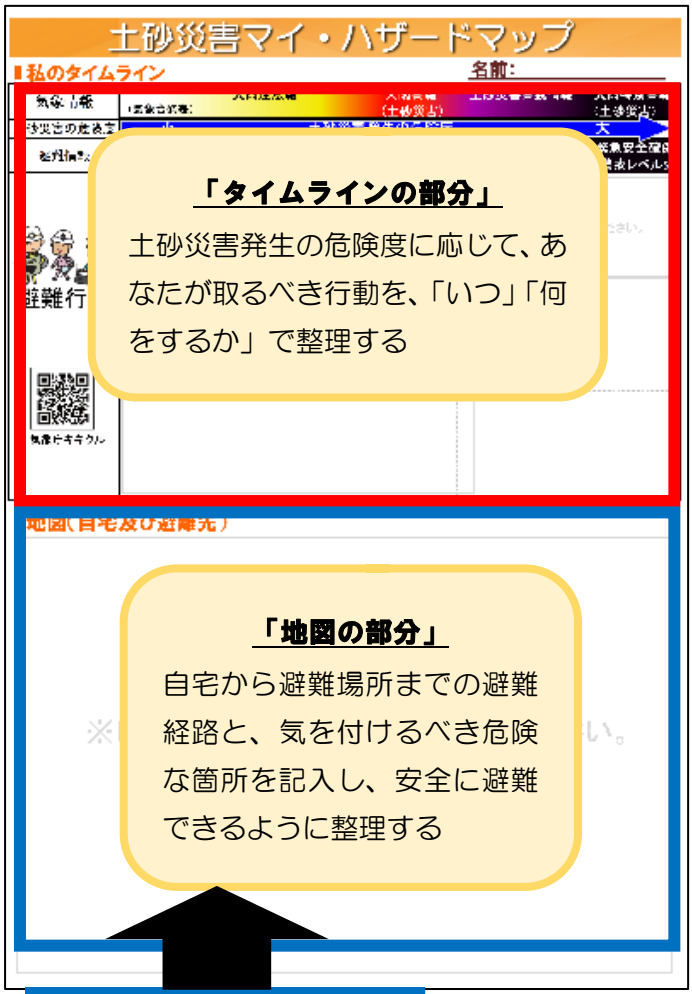
**マイ・ハザードマップの作成のための
用語などの解説を行っている部分です。**

作業しましょう

**マイ・ハザードマップの作成のための
作業が必要になる部分です。**

（２）マイ・ハザードマップ台紙と作成用シールの説明

マイ・ハザードマップ台紙

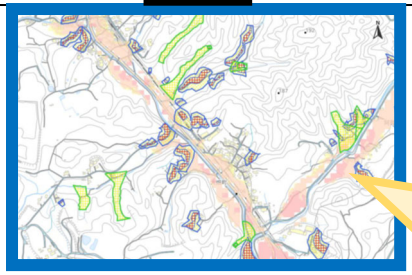


「タイムラインの部分」

土砂災害発生の危険度に応じて、あなたが取るべき行動を、「いつ」「何をするか」で整理する

「地図の部分」

自宅から避難場所までの避難経路と、気を付けるべき危険な箇所を記入し、安全に避難できるように整理する



作成用シール

「地図の部分に貼るシール」

地図の部分を作成する際に使用するシール

「タイムラインの部分に貼るシール」

タイムラインの部分を作成する際に使用するシール

「愛知県土砂災害・水害情報マップから印刷した地図または市町村から配布されたハザードマップのコピー」

土砂災害警戒区域や指定避難所等の場所がわかる自宅周辺の地図を印刷する

3. 台紙に自宅周辺の地図を貼ろう！

作業しましょう

地図の部分作成の準備として、土砂災害警戒区域等が入った自宅周辺の地図を印刷して、台紙に貼り付けます。

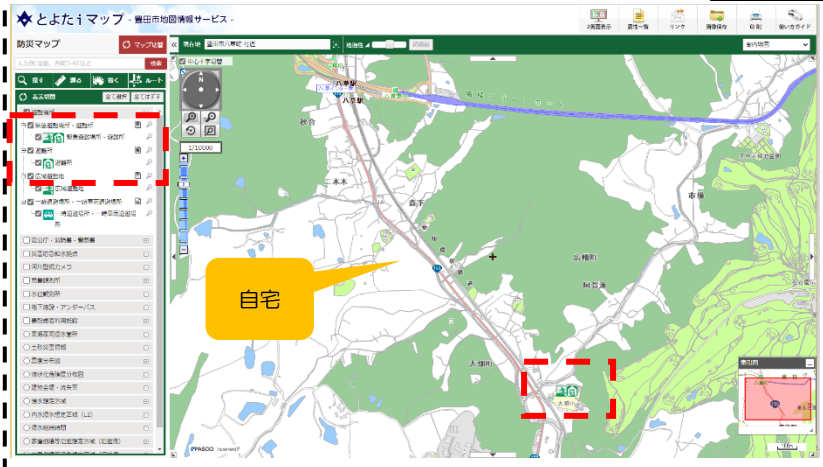
プリンタ等で印刷できる環境にない方は、P.９へ

（１）自宅周辺の指定避難所の位置を確認しよう！

- 地図を印刷する前に自宅周辺の指定避難所の位置を確認しましょう。

解説

- 指定避難所の探し方について、豊田市を例に説明します。インターネットで「愛知県豊田市　指定避難所」と検索すると市のHPの指定避難所に関する検索結果が出ます。サイトにアクセスしていただくと、避難所の一覧やハザードマップ、防災マップ等が表示されます。
- 豊田市の場合は、とよたｉマップを選択し、住所検索により自宅位置と、マップにより自宅周辺の指定避難所を知ることができます。



作業しましょう

（２）「愛知県土砂災害・水害情報マップ」で自宅周辺の地図を探そう！

「愛知県土砂災害・水害情報マップ」のQRコード

- 愛知県土砂災害・水害情報マップ（https://sabo.service-section.com/portal/showmap887.php）にアクセスしましょう。
  - （方法１）右側のQRコードを読み込んでアクセスします。
  - （方法２）インターネットで「愛知県土砂災害・水害情報マップ」を検索してアクセスします。

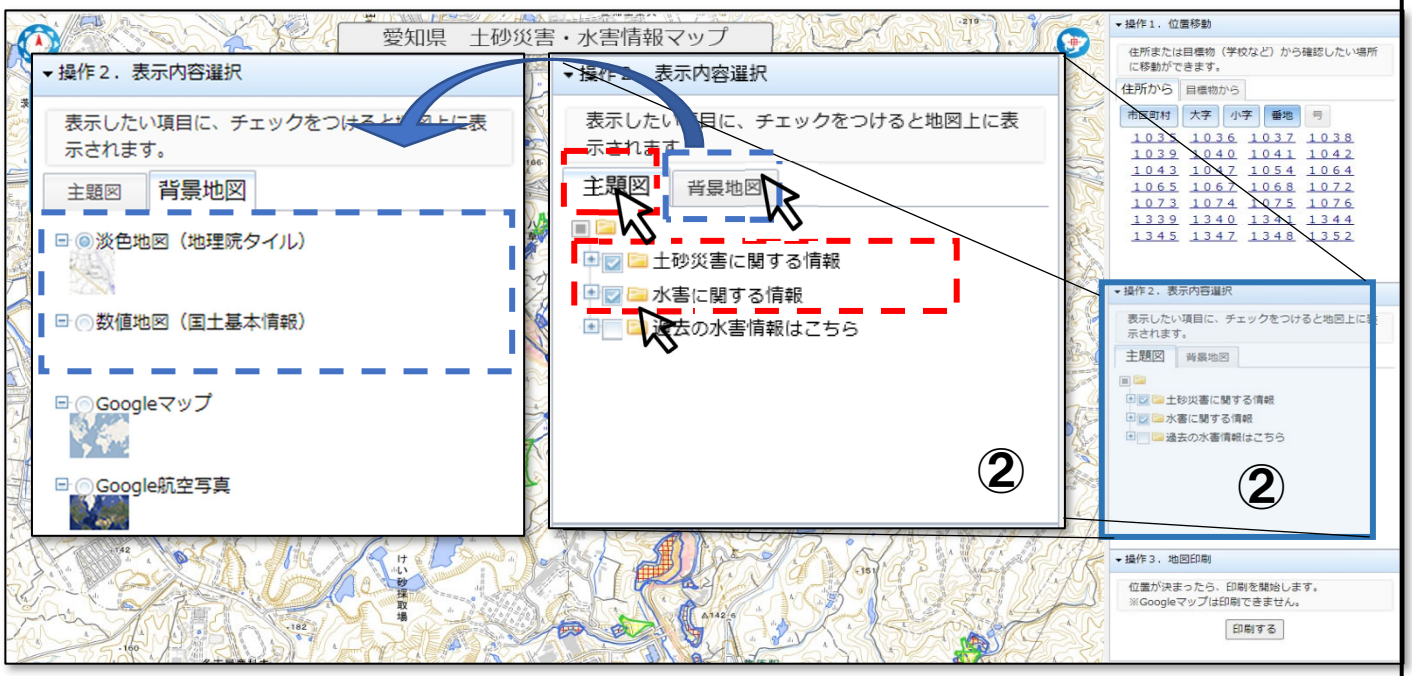
愛知県土砂災害・水害情報マップ　検索

- 次に、右側の「操作１」から自宅周辺を検索します。方法は下記の２つがあります。
  - （方法１）マップ上をドラッグして自宅を探します。
  - （方法２）下の図のようにお住まいの住所をクリックして検索します（①）。

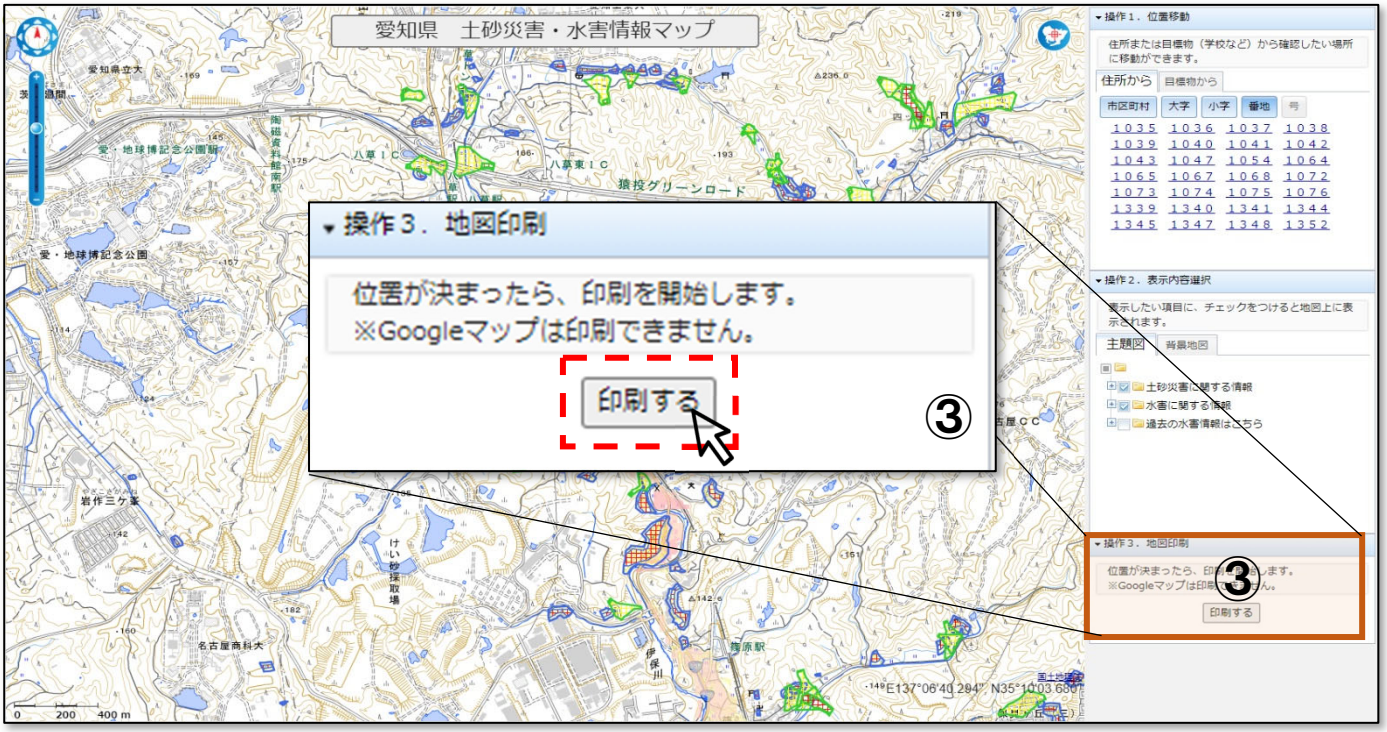
手順：お住まいの住所をクリックしていく

作業しましょう

- 「操作２」では、地図に土砂災害・水害の危険性のある箇所を表示します。「主題図」をクリックし、「土砂災害に関する情報」と「水害に関する情報」にチェックを入れてください（②）。過去に水害があった箇所も「過去の水害情報はこちら」にチェックを入れると見えます。
- 次に、背景地図の設定をします。「背景地図」をクリックし、「淡色地図」または「数値地図」を選択してください（「Google マップ」及び「Google 航空写真」は印刷できません）。



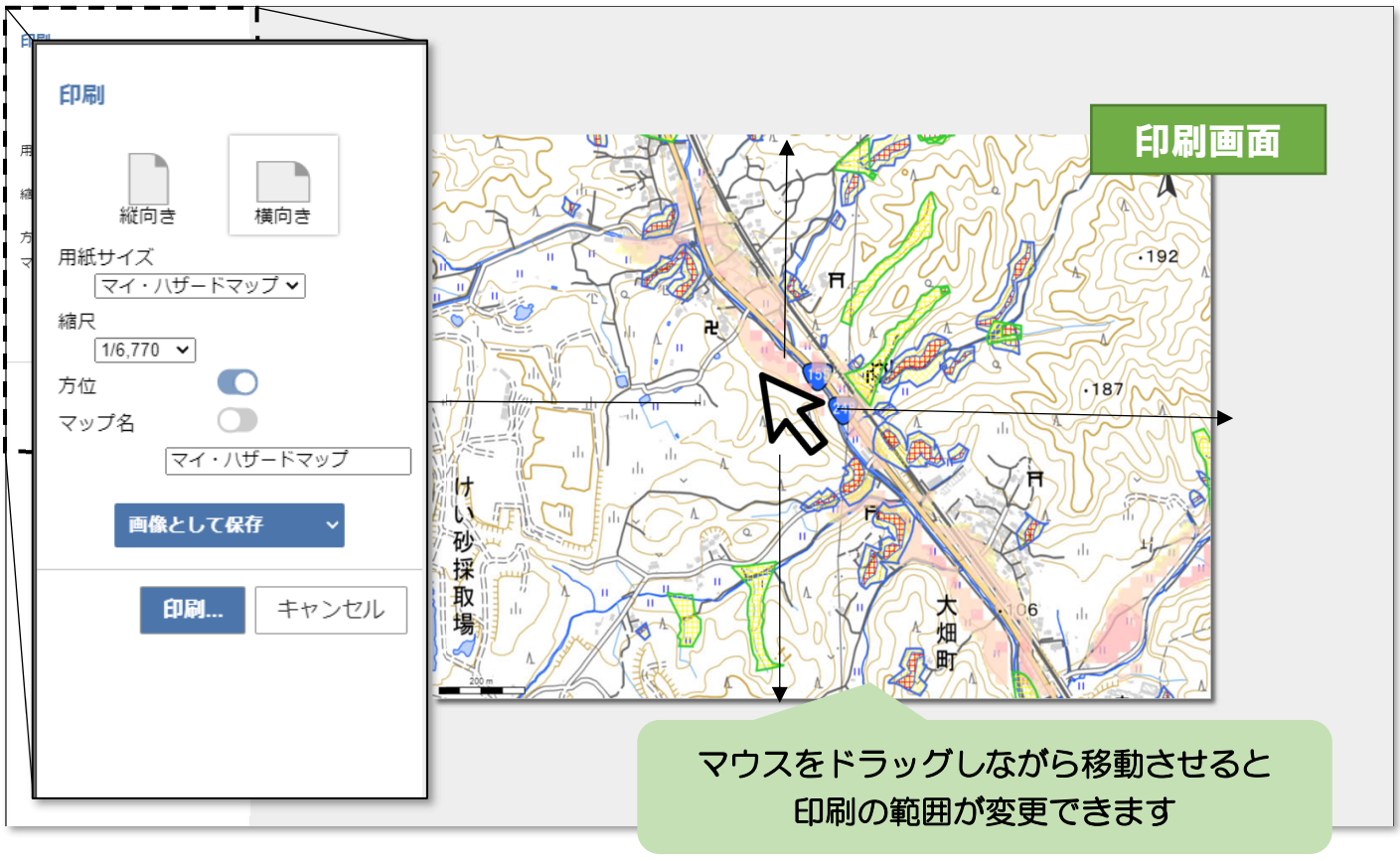
- ①と②が設定出来たら、「印刷する」をクリックしましょう（③）。



作業しましょう

（３）地図を印刷しよう

- 印刷の詳細設定を行います。まず、印刷の向きは「横向き」に設定してください。
- 用紙サイズは、「マイ・ハザードマップ」です。
- 縮尺を変更すると、地図の拡大・縮小ができます。
- 方位は、オンにしてください。
- マップ名は、オフにしてください。
- 地図上をドラッグすると印刷の位置を移動することができます。
- ホイールボタンをスクロールするか縮尺の値を変更することで印刷する範囲に自宅と指定避難所が含まれていることを確認してください。
- 設定が終了したら、パソコンで作業されている方は、プリンタに接続されていることを確認して、印刷を行ってください。
- スマートフォンで作業されている方は印刷設定画面から直接印刷するのではなく、PDF ファイルとして一度保存してから印刷していただく必要があります。まず、「画像として保存」を選択していただき、PDF 形式で保存して PDF を印刷してください。
  - iPhone の場合、PDF は「ファイル」に保存されています。
  - Android の場合、「pdf で保存」を選択すると「ドライブビューアで開く」という画面が出ますので選択し印刷を行ってください。



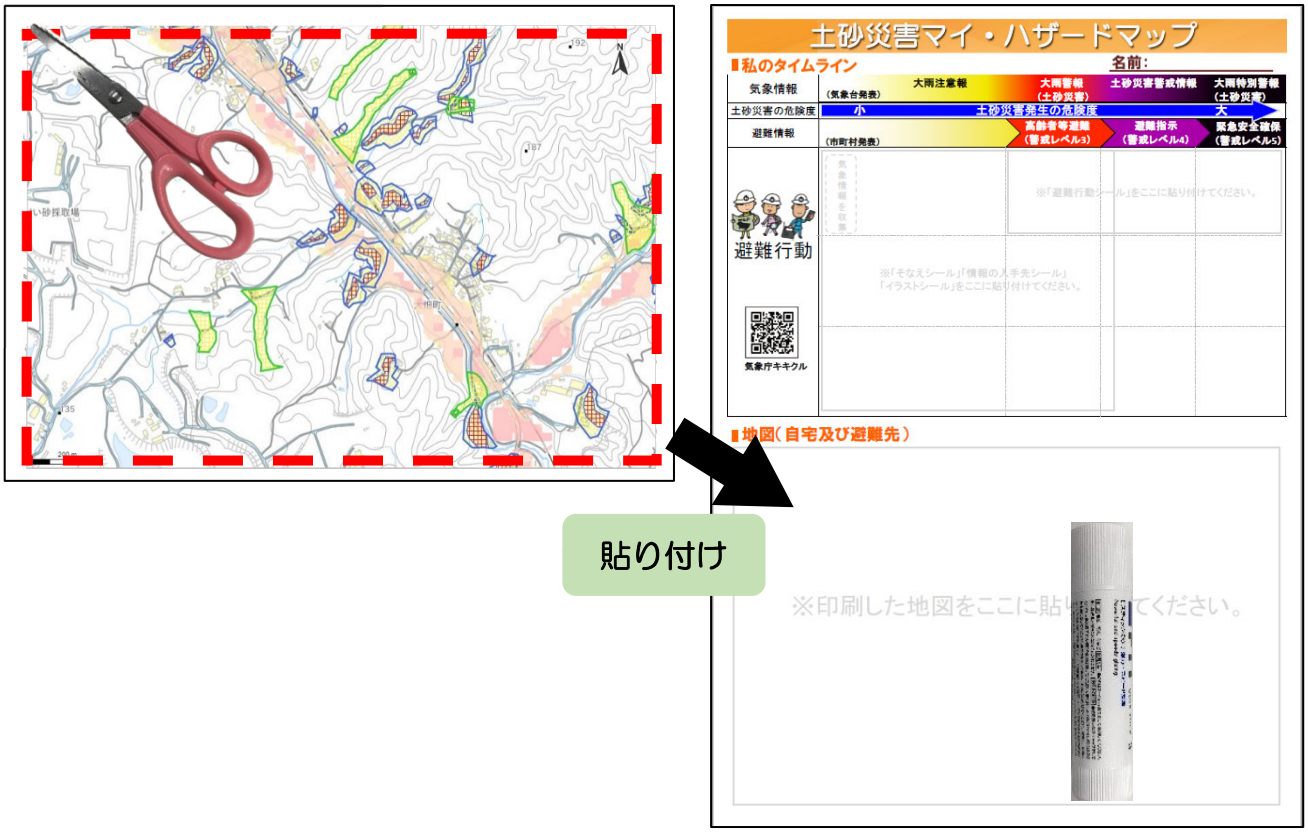
作業しましょう

（４）台紙に貼り付けよう！

- 印刷した地図をハサミで切り取りましょう。
- マイ・ハザードマップ台紙にのりで貼り付けましょう。基本的に地図の上側が北を示していますが、必要であれば、「作成用シール」にある「方位シール」を地図の空いているスペースに貼り付けてください。

●プリンタ等で印刷できる環境にない方

- 市町村のハザードマップのコピーなど入手した地図をハサミで切り取り、マイ・ハザードマップ台紙に貼り付けましょう。
- 台紙の大きさに切ると、自宅と指定避難所が切れてしまう場合は、マイ・ハザードマップ台紙の裏面に貼り付けてください。

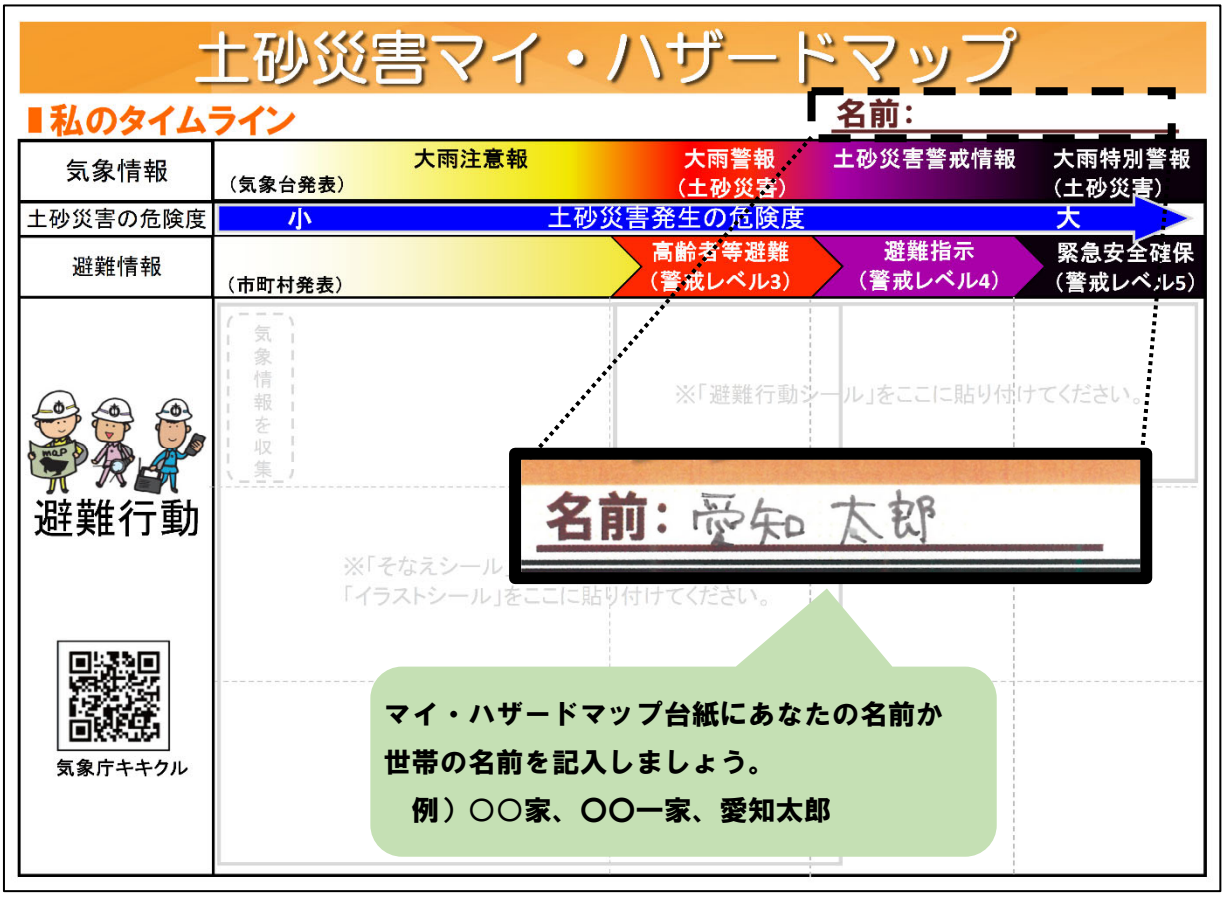


作業しましょう

（５）名前を記入しましょう！

- マイ・ハザードマップの対象となる世帯かあなたの名前を記入しましょう。

マイ・ハザードマップ台紙



これで、準備完了です！！

4. 地図に自宅から避難場所までの経路を書こう！

作業しましょう

（１）自宅の記入

- マイ・ハザードマップ作成用シールから「自宅シール」 をはがし、自宅の位置に貼りましょう。

（２）避難する場所の記入

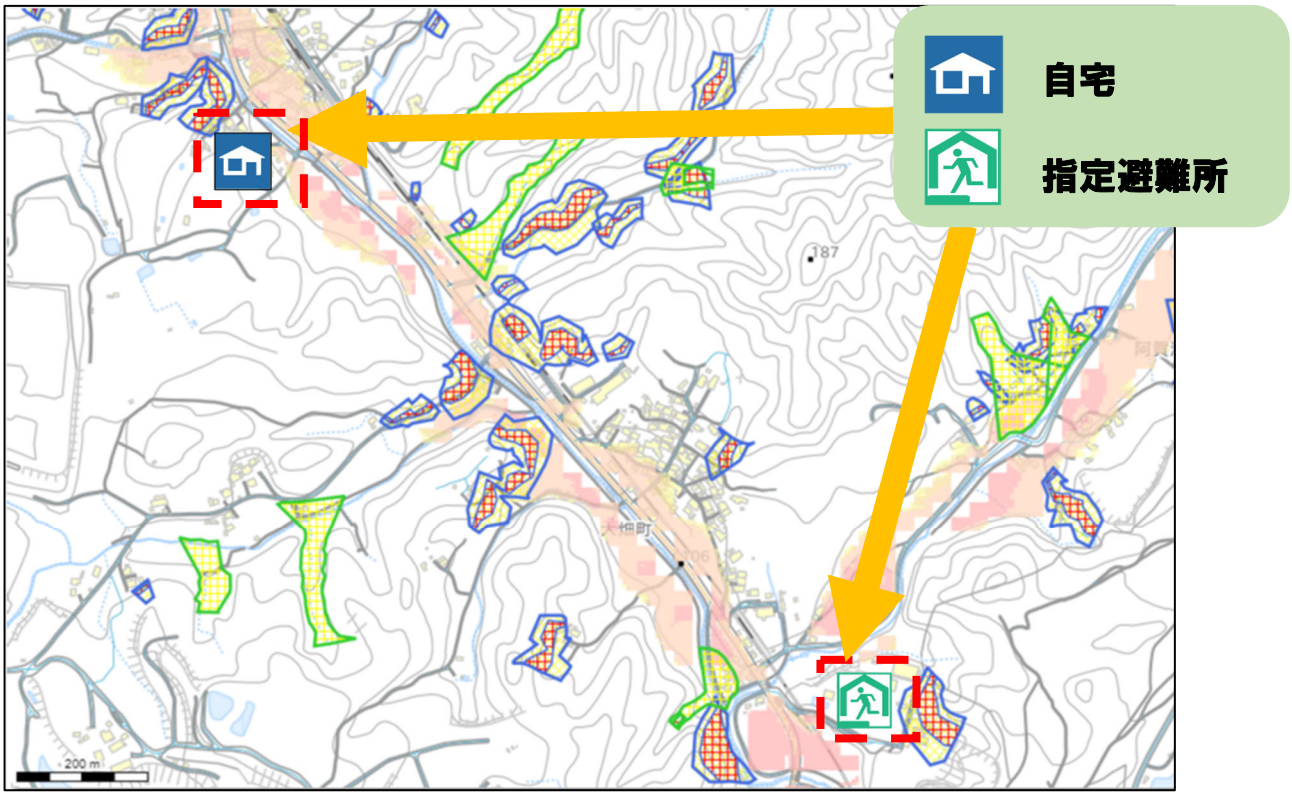
- 避難する場所は大きく分類すると「指定避難所」、「自主的に避難する場所」、「緊急安全確保場所」に分けられます。これらの避難する場所ついて理解しながら、あなたがどこに避難するのか決めていきましょう。

①指定避難所とは

- 指定避難所とは、一定期間避難生活をする場所として、あらかじめ市町村が指定した施設です。

作業しましょう

- それでは、地図上に「指定避難所シール」 を貼付しましょう。



②自主的に避難する場所とは

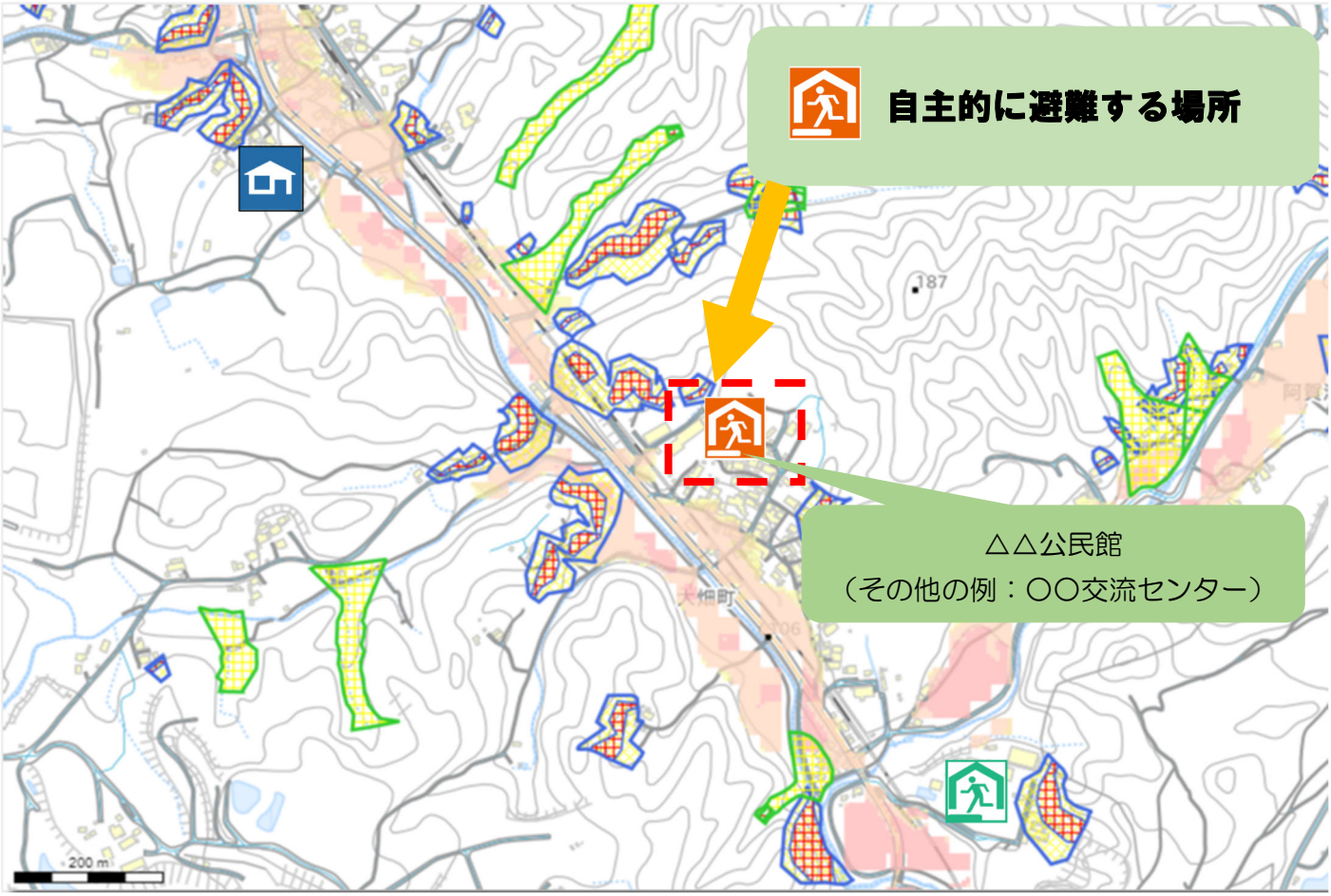
- 自主的に避難する場所とは、指定避難所への避難が間に合わない場合に自主的に避難する自宅より安全な近隣の建物等です。

【自主的に避難する場所の例】

- 鉄筋コンクリート造等の強固な近所の建物
- 安全な場所に建てられた地域の建物（交流センターや公民館）

作業しましょう

- それでは、地図上に「自主的に避難する場所シール」 を貼り付けましょう。



③緊急安全確保場所とは

- 緊急安全確保場所とは、急な豪雨等により避難所への避難が安全に行えなくなった場合（警戒レベル５：緊急安全確保）に避難する場所です。台風の接近等で早期避難が可能な場合は早めに避難することを心がけましょう。

【緊急安全確保場所の例】

- 鉄筋コンクリート造等の強固な建物
- 自宅の２階以上の部屋
- できるだけ山から離れた部屋

作業しましょう

- それでは、地図上に「緊急安全確保場所シール」 を貼り付けましょう。

（３）危険な箇所の確認

- 下の凡例は、土砂災害や水害が発生する危険性がある場所です。地図で、自宅周辺や各避難場所までの避難経路に危険な場所がないか確認しましょう。

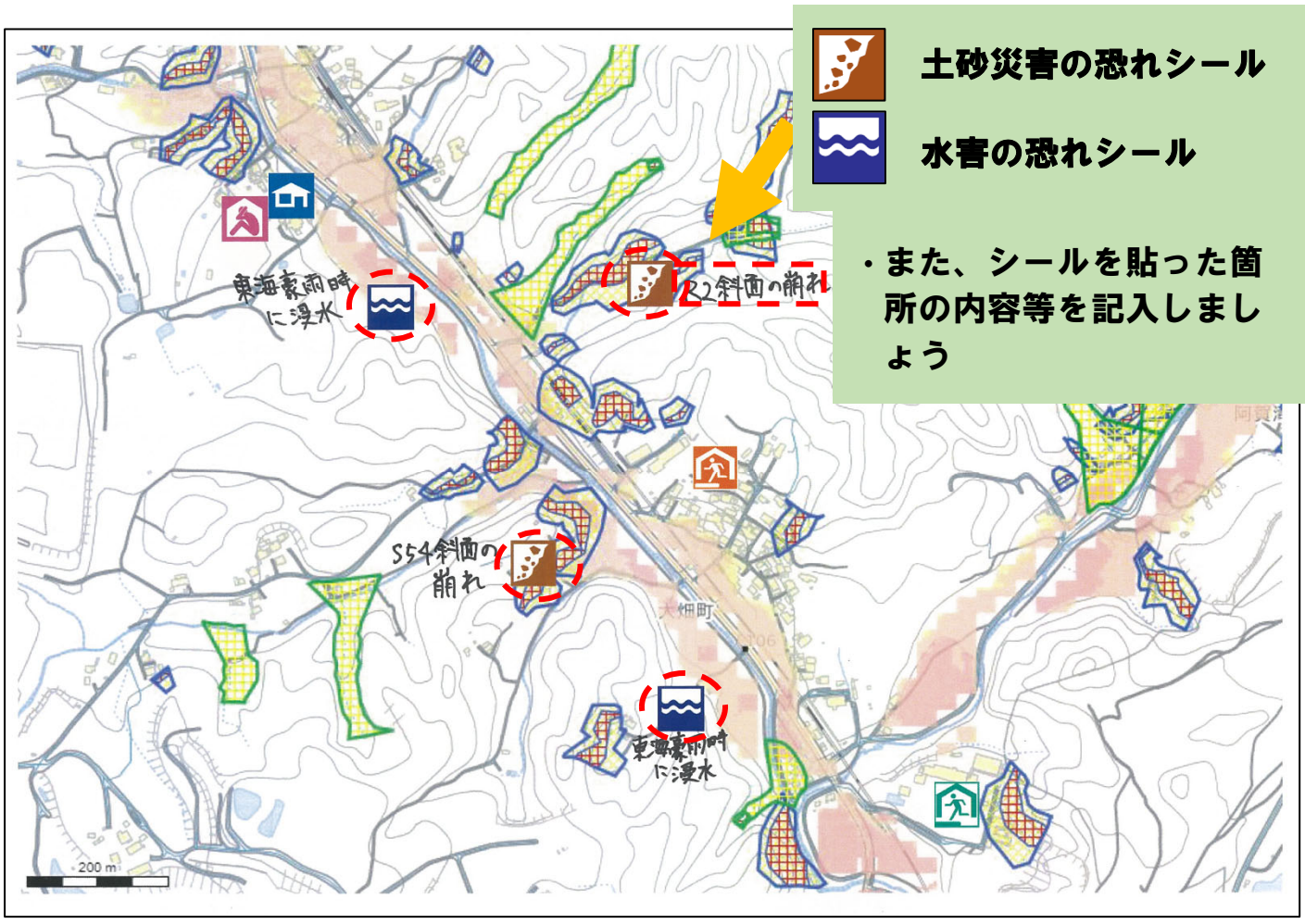
土砂災害や水害が発生する危険性のある箇所に関する凡例

凡例		内容
	土砂災害特別警戒区域	土石流またはがけ崩れが発生した際に、被害を生じる可能性がある区域
	土砂災害警戒区域	土石流またはがけ崩れが発生した際に、土砂が氾濫・堆積する可能性がある区域
	勾配30度以上の斜面	急な斜面
	浸水想定区域	想定し得る最大規模の降雨により当該河川が氾濫した場合に浸水が想定される区域

作業しましょう

（４）過去の災害個所の記入

- 次のような土砂災害・水害の恐れのある場所にシール を貼って、その内容をボールペン等で書きましょう。
  - 過去に土砂災害が発生した場所
  - 土砂崩れに注意するように言われた場所
  - 降雨時、よく水のでる斜面や渓流、土砂が流れる斜面
  - 豪雨時等に頻繁に冠水や土砂流出等で不通になる場所
- 家族や近所の人と過去の災害箇所について話し合いながら記入しましょう。



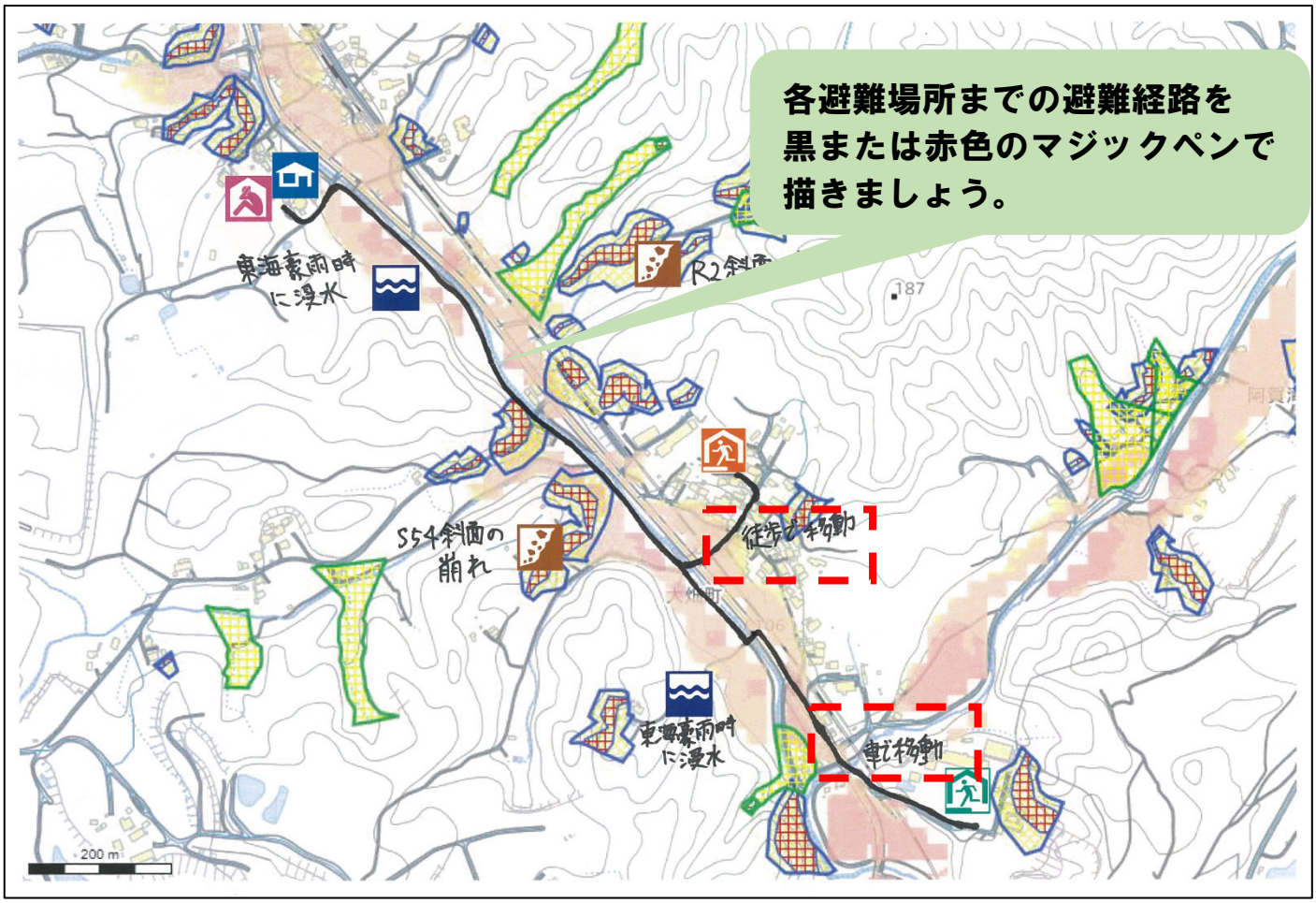
（５）避難経路の記入

次に避難経路を地図に記入します。避難経路を選ぶ際には、次のようなポイントがあります。

- 土砂災害の危険がある場所をなるべく避ける
- 出来るだけ広い道を選ぶ
- 大雨の時に水路が溢れる場所はなるべく避ける
- 大雨の時に道路が浸水する場所はなるべくさ避ける
- 街灯があることが望ましい
- 浸水する道は、ガードレールが設置されていることが望ましい

作業しましょう

- 「指定避難所」、「自主的に避難する場所」、「緊急安全確保場所」までの避難経路をマジックペンで地図上に描きましょう。
- 避難する手段（車、タクシー、徒歩など）についても、避難ルートの横に記入してください。



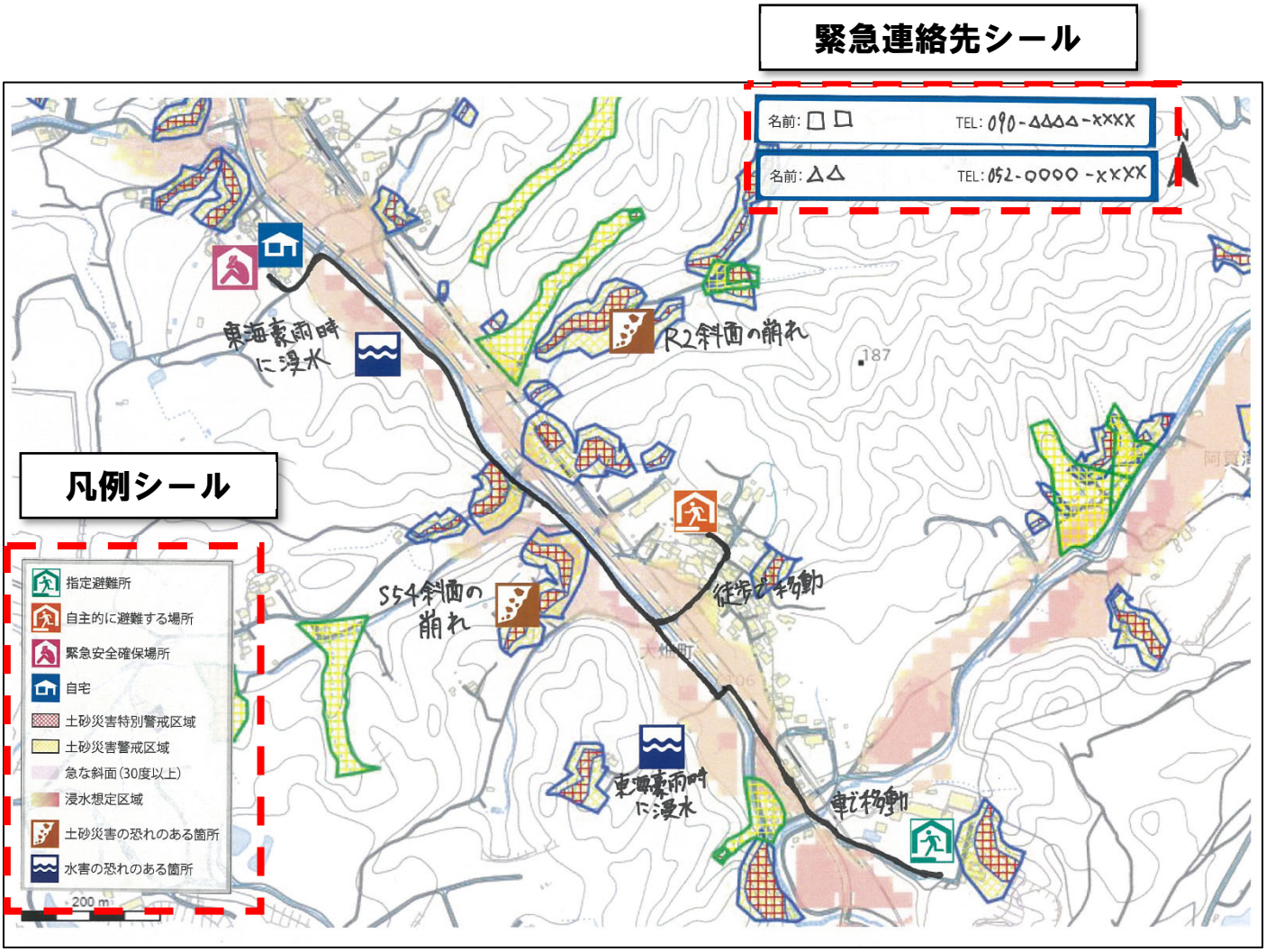
作業しましょう

（６）緊急連絡先シールの貼付

- 家族の勤務先や学校など、緊急時の連絡先を緊急連絡先シールに記入して空いたスペースに貼付しましょう。
- 持病がある方がいる場合は、最寄りの病院等の情報も併せて作成するとよいでしょう。

（７）凡例シールの貼付

- 地図の空いているスペースに凡例シールを貼りましょう。



こちらで、地図の部分の作成は終了です！

5. タイムラインの部分を作成しよう！

解説

○タイムラインの部分の見方と作業方法

- 赤枠内の気象情報、土砂災害の危険度、避難情報は、**右に向かうほど、土砂災害の危険度が高くなること、また雨がひどくなり危険な状態となることを示しています。早めの避難を心掛けましょう。**
- 黒枠部分に、ご自身やご家族の避難行動（いつ、どのような行動をするのか）のタイムラインを作成していきます。

マイ・ハザードマップ（タイムラインの部分）の抜粋

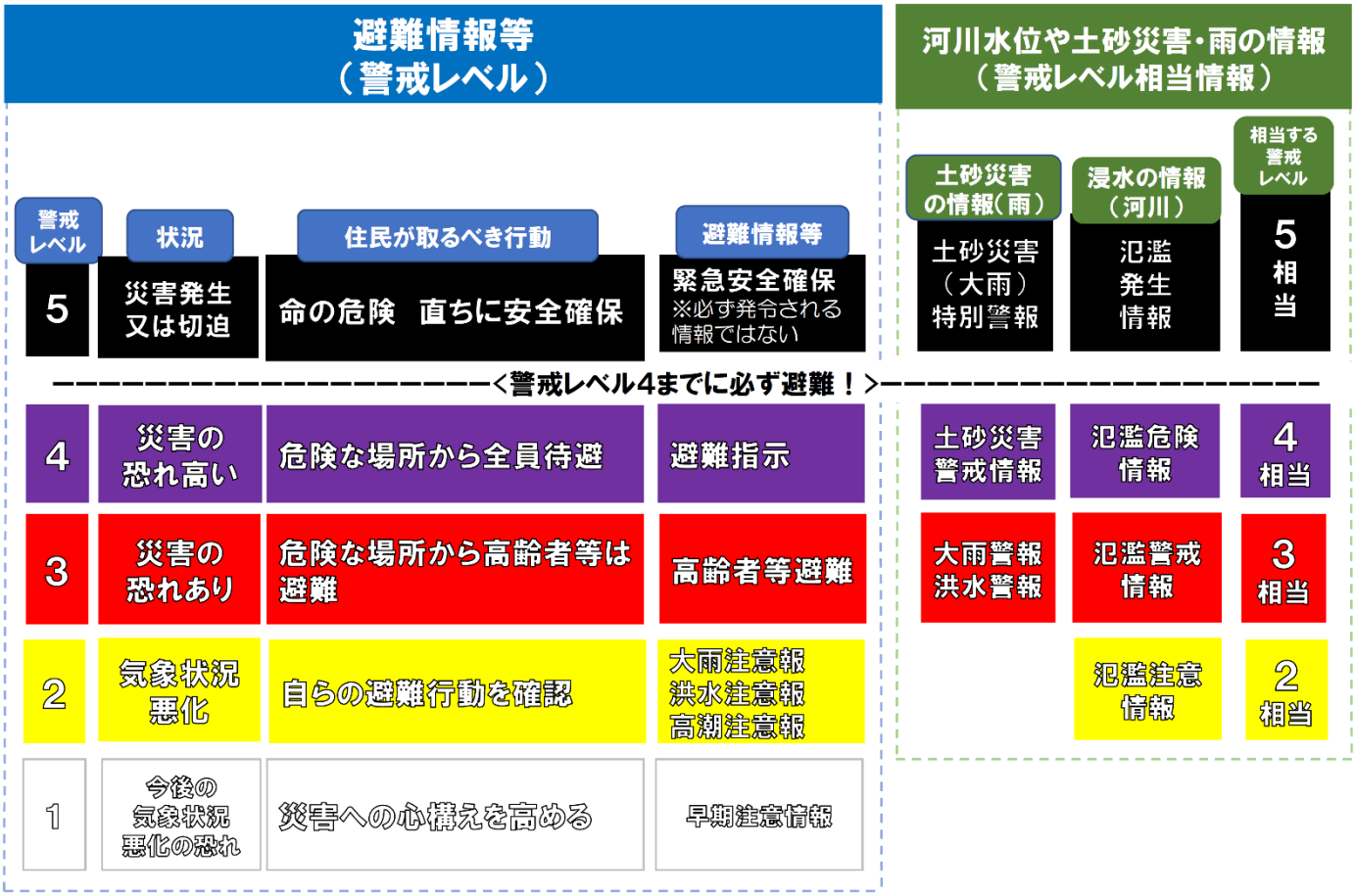
気象情報	大雨注意報（気象台発表）		大雨警報（土砂災害）	土砂災害警戒情報	大雨特別警報（土砂災害）
土砂災害の危険度	小	土砂災害発生の危険度			大
避難情報	（市町村発表）		高齢者等避難（警戒レベル3）	避難指示（警戒レベル4）	緊急安全確保（警戒レベル5）
避難行動	気象情報を収集	※「避難行動シール」をここに貼り付けてください。			
気象庁キキクル	※「そなえシール」「情報の入手先シール」「イラストシール」をここに貼り付けてください。				

解説

○気象情報と避難情報

- 気象情報は、気象庁や県などが発令する警戒レベル相当情報です。土砂災害や水害に関する情報があります。
- 避難情報は、市町村が発令する情報です。高齢者等避難、避難指示、緊急安全確保の３つがあります。
- レベルが上がるほど、危険な状態であることを示しています。
- 気象情報や避難情報はテレビのニュース速報や携帯電話のエリアメール等で入手できます。

５段階の警戒レベルと防災気象情報

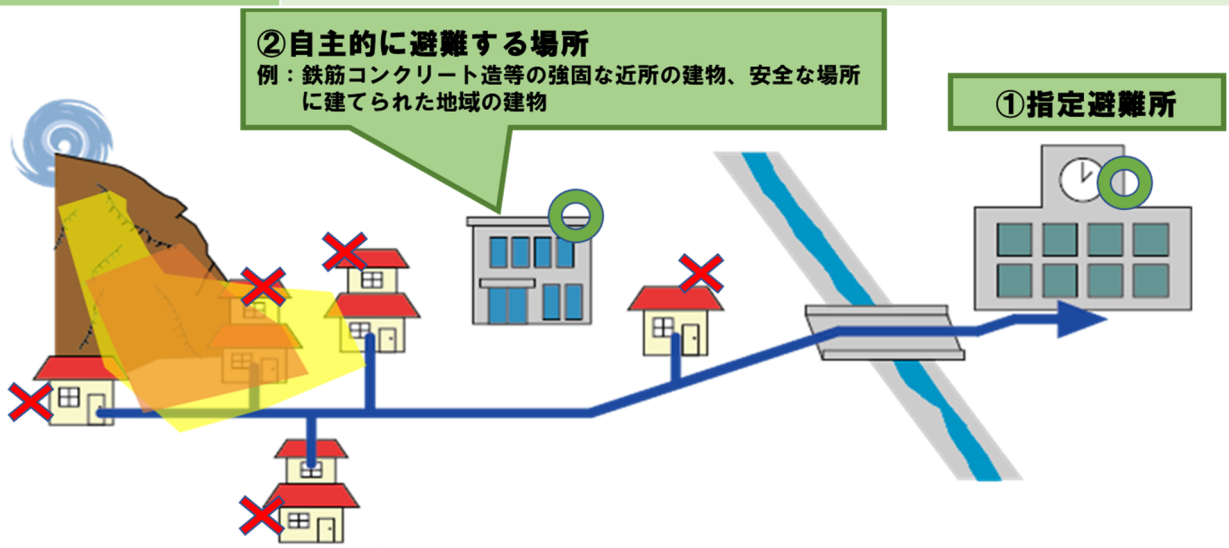


解説

次に避難のタイミングを考えます。土砂災害の危険性が高まった際の避難の方法は、状況に応じて２種類があります。避難するタイミングを考える際に活用してください。

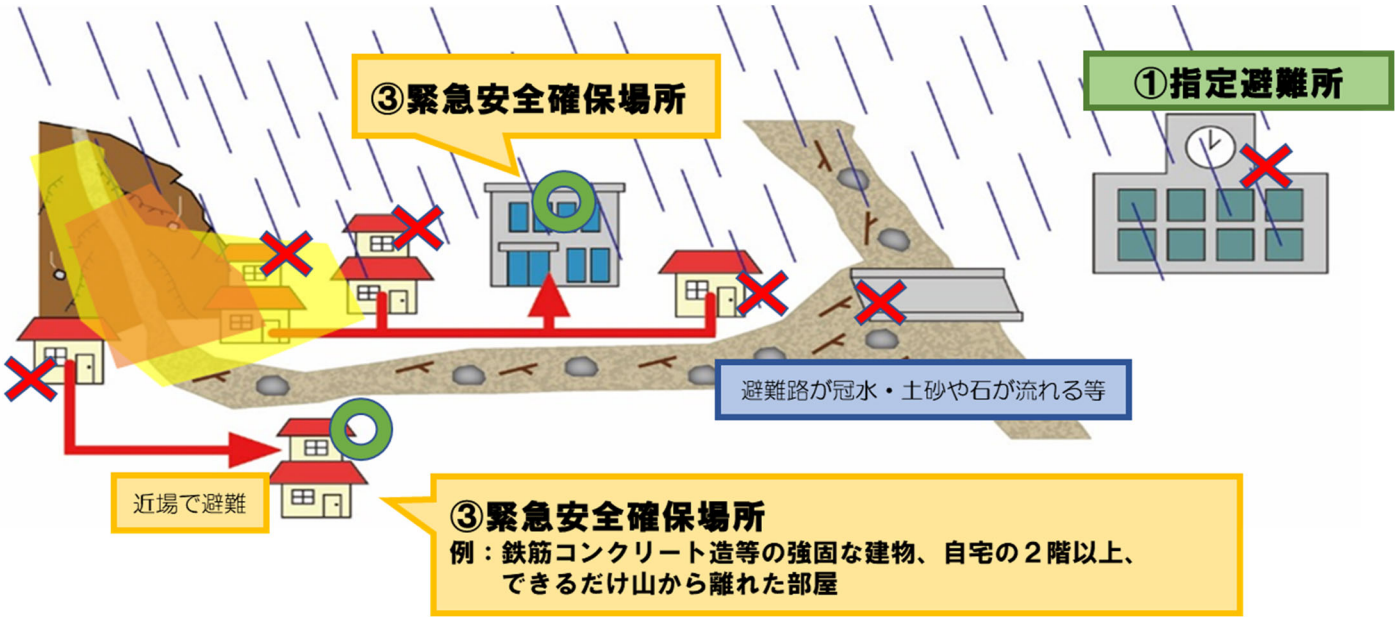
● 事前避難

●台風などによる豪雨など前もって避難を行える場合	
①指定避難所	・災害により住宅を失った場合等において、一定期間避難生活をする場所として、あらかじめ市町村が指定した施設です。
②自主的に避難する場所	・自主的に避難する場所とは、市町村が開設する指定避難所とは異なり、指定避難所への避難が間に合わない場合に自宅より安全度の高い近隣の建物へ避難する地区や近所の方と決めた場所です。 【自主的に避難する場所の例】 ・鉄筋コンクリート造等の安全な場所に建てられた地域の建物



● 緊急待避

●ゲリラ豪雨など、事前避難が難しい場合	
③緊急安全確保場所 ※自主的に避難する場所と同じでも良い	・緊急安全確保場所とは、急な豪雨等により避難所への避難が安全に行えなくなった場合（警戒レベル５緊急安全確保）に避難する場所です。



（１）「そなえシール」と「情報の入手先シール」の貼り付け

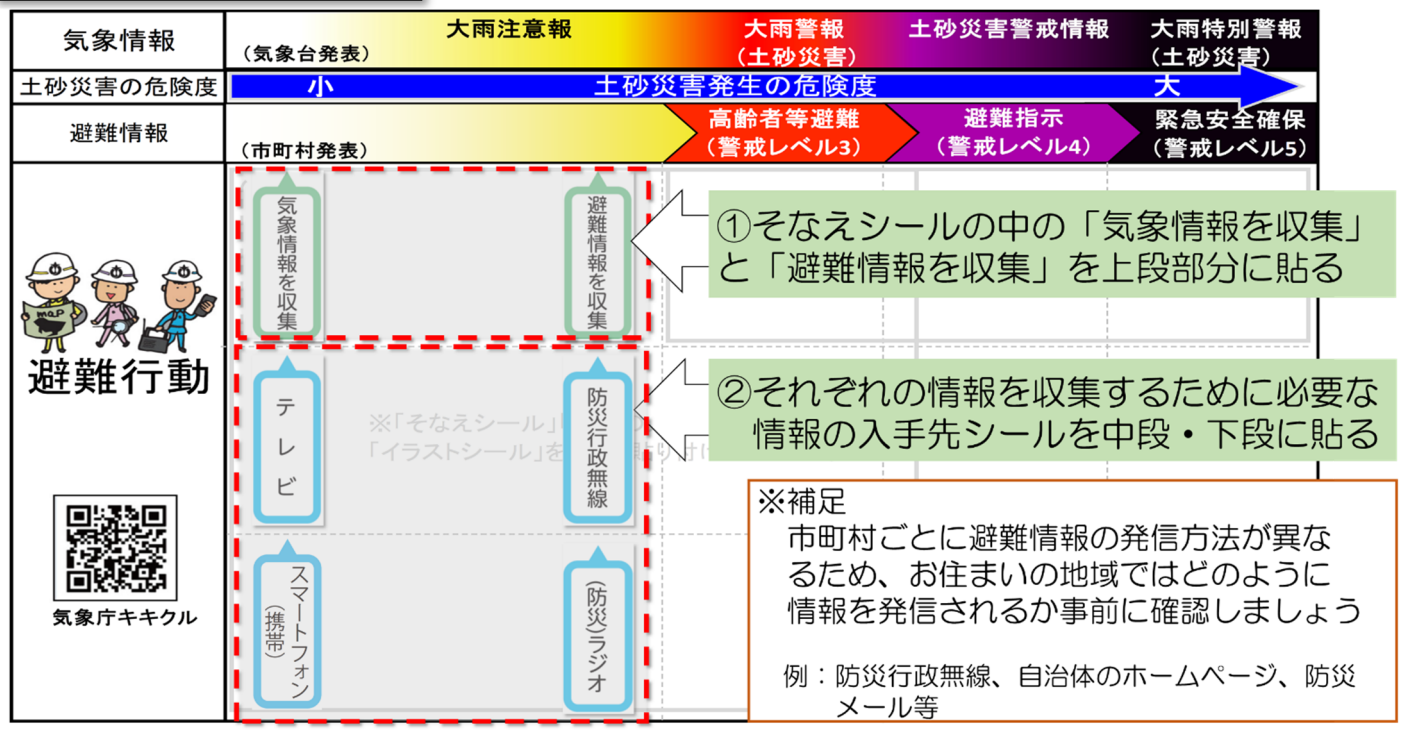
適切な避難をするためには、避難を開始するまでの準備や避難時の声掛けが大切です。事前にしっかりと確認しておきましょう。

作業しましょう

- そなえシールの中にある「気象情報を収集」シールを、タイムラインの上段部分の一番左に貼り付けましょう。
- そなえシールの中にある「避難情報を収集」シールを、あなたが<u>避難を開始するタイミングの少し前</u>に貼り付けましょう。避難を開始するタイミングとしては、「高齢者等避難」、「避難指示」、「緊急安全確保」が挙げられます。高齢者等で早めの避難が必要な方は黄色と赤色のレベル３の間あたりに、それ以外の方は赤色のレベル３と紫色のレベル４の間あたりに貼り付けましょう。
- 「何を使って」情報を収集するか、水色の「情報の入手先シール」も貼り付けましょう。

※シールにないものは空白のシールに自由に書いて貼り付けましょう。

タイムラインの部分

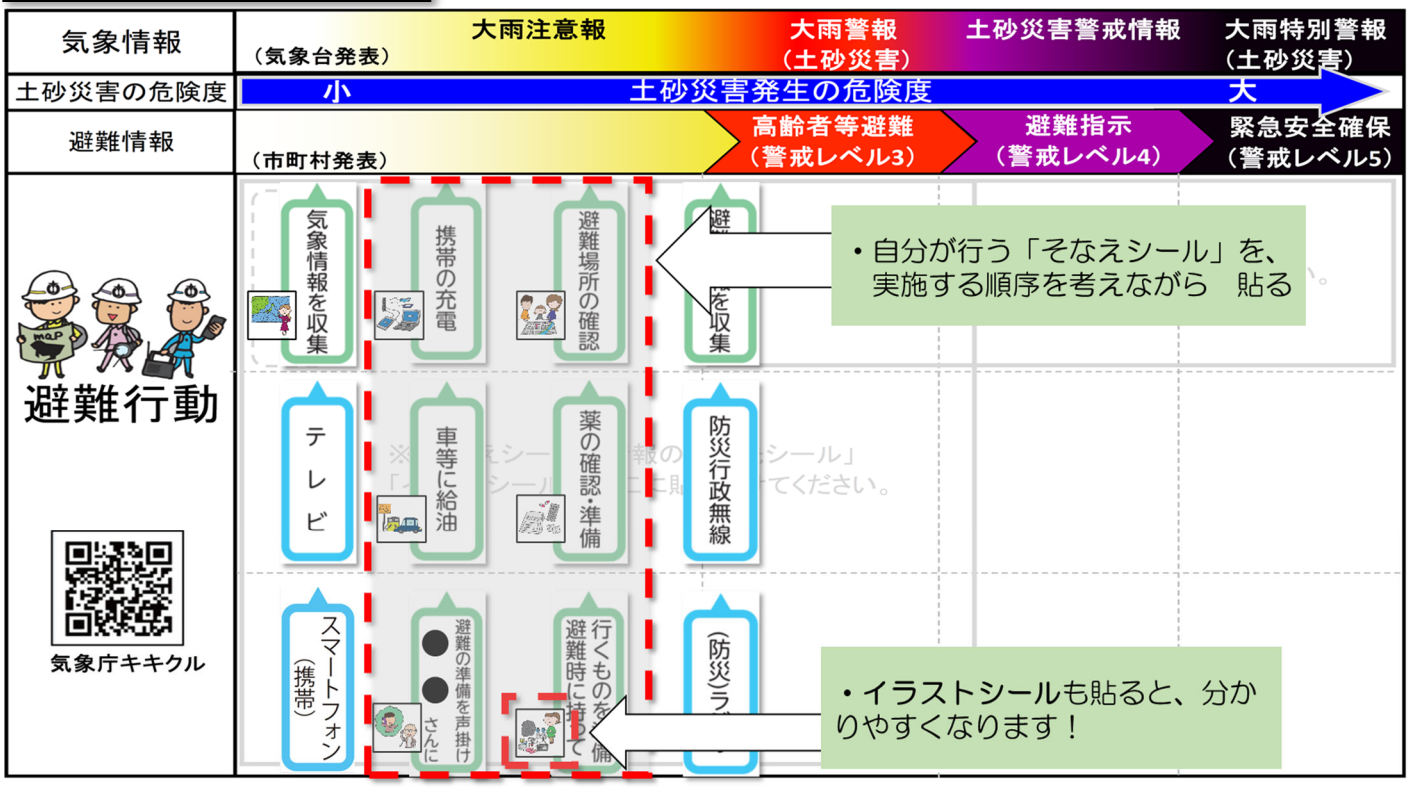


作業しましょう

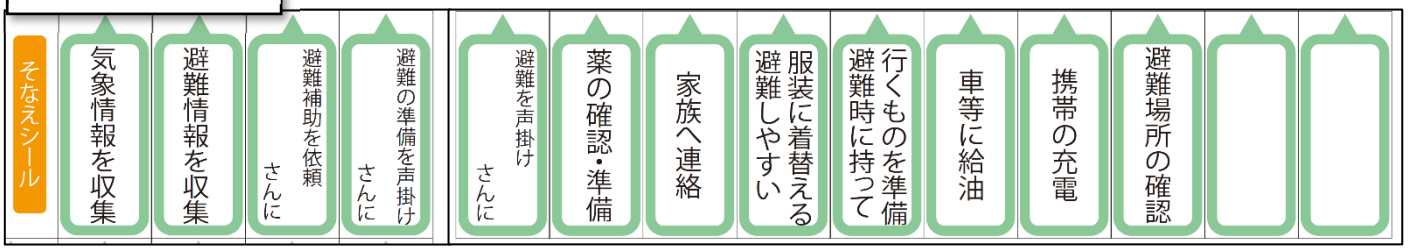
- 避難するまでの間に、「そなえシール」を実施する順序を考えて貼りましょう。

※シールにないものは空白のシールに自由に書いて、貼り付けましょう。

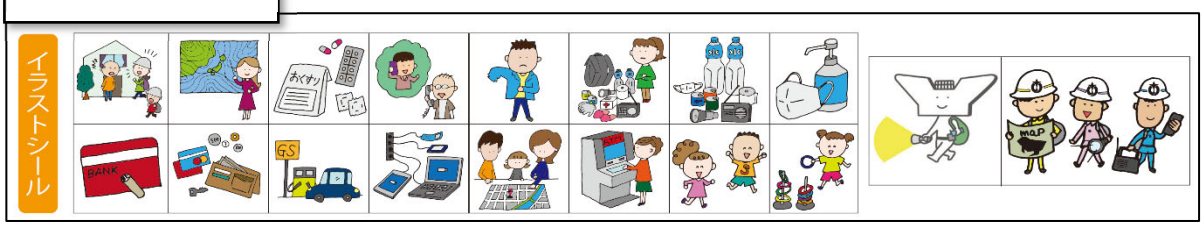
タイムラインの部分



そなえシール



イラストシール



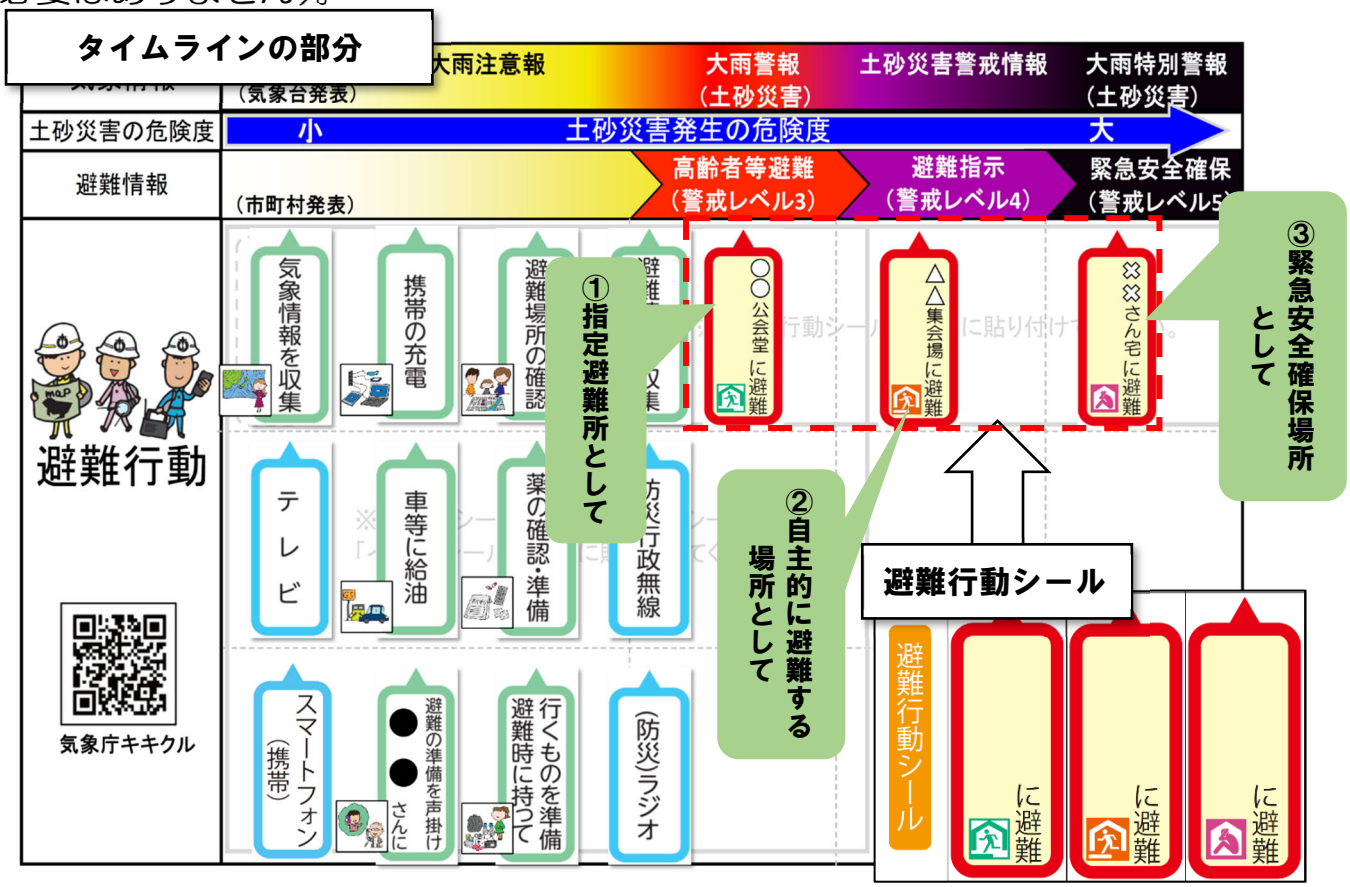
（２）避難シールを貼りましょう

適切な避難ができるように、避難を開始するタイミングを確認しましょう。

作業しましょう

- 地図に貼った指定避難所、自主的に避難する場所、緊急安全確保場所にどのタイミングで避難するのか決めましょう。
- 指定避難所の名前を避難行動シールにボールペン等で書き、指定避難所を記入した避難行動シールを、高齢者等で早めの避難が必要な方は赤色のレベル３の左端の下あたりに、それ以外の方は、紫色のレベル４の下あたりに貼りましょう。
- 次に自主的に避難する場所の名前を避難行動シールにボールペン等で書き、自主的に避難する場所を記入した避難行動シールを、指定避難所を記入した避難行動シールの右側に貼りましょう。
- 最後に、緊急安全確保場所の名前を避難行動シールにボールペン等で書き、緊急安全確保場所を記入した避難行動シールを、黒色のレベル５の下あたりに貼りましょう。

※避難行動シールは、避難する場所の数と同じ枚数貼りましょう（必ずしも３枚貼る必要はありません）。



以上で、マイ・ハザードマップの作成は終了です！！

Ⅲ. マップの活用

1. 避難訓練の実施

- マイ・ハザードマップが完成したら、実際に避難場所までの避難路で安全に避難ができるのかなど、確認が必要です。地域で行われる避難訓練等で、今回作成したマイ・ハザードマップを用いて避難してみよう。
- 確認事項
  - 避難場所までの避難路が本当に安全かどうか
  - タイムラインは余裕をもった行動になっているか
  - 持ち出し品はそろっているか
  - 家族内の連絡先は共有されているか
  - 避難場所に到着するまでどれくらいの時間が必要なのか　　など

2. マイ・ハザードマップを作成したあとは？？

- マイ・ハザードマップは作成することが目的ではありません！実際に避難行動を行うことが大切です。
- 作成したマイ・ハザードマップは、緊急時にすぐ確認できるよう、ご家庭の見やすい場所に掲示しましょう。
- 時間の経過とともに世帯構成や生活様式は変化します。マイ・ハザードマップの見直しを適宜行ってください。

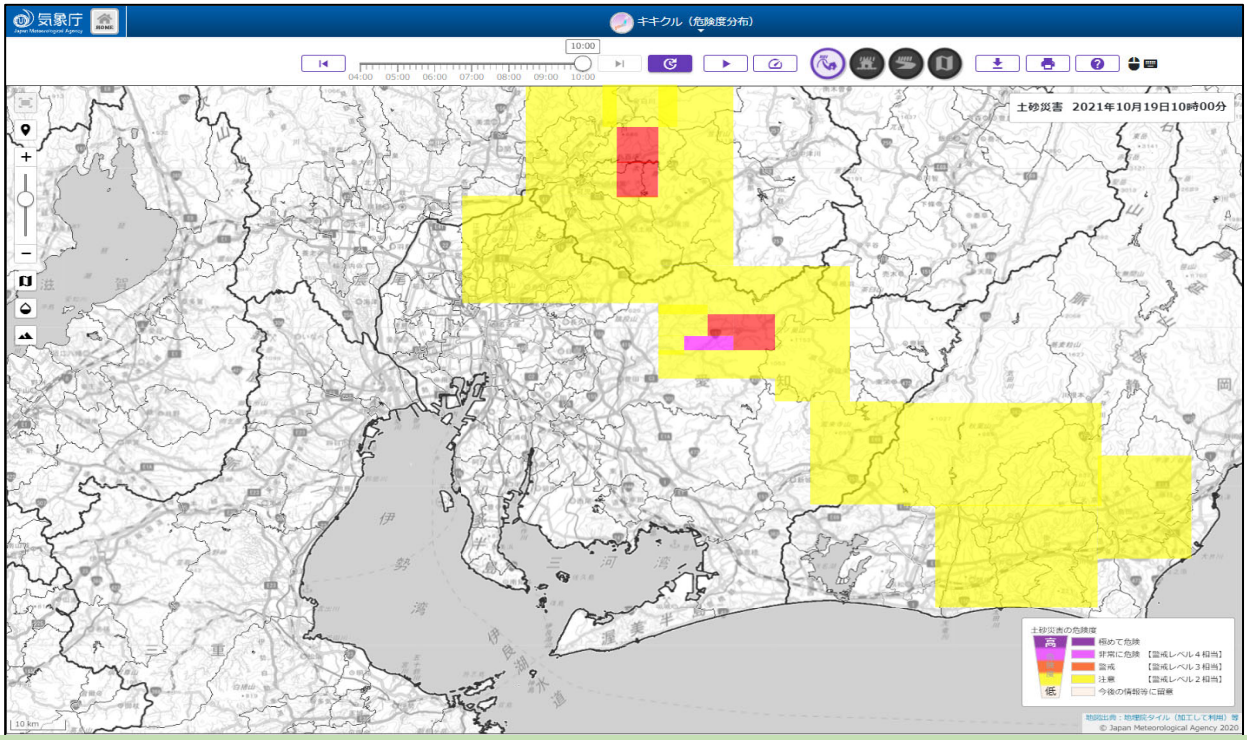
リンク集

- マイ・ハザードマップを作ってみましょう
  （http://sabo.service-section.com/portal/?page_id=425）
- 愛知県土砂災害・水害情報マップ
  （https://sabo.service-section.com/portal/showmap887.php）
- 避難情報に関するガイドラインの改定（令和３年５月）
  （http://www.bousai.go.jp/oukyu/hinanjouhou/r3_hinanjouhou_guideline/）
- NHK|災害関連情報（https://www.nhk.or.jp/kishou-saigai/list/）
- 気象庁|キキクル（危険度分布）
  （https://www.jma.go.jp/bosai/risk/#zoom:8/lat:36.445590/lon:134.747314/colordepth:normal/elements:land&hazardmap）

参考

○キキクルで自宅周辺の危険度を調べよう！

- キキクル（危険度分布）とは？
  - キキクルとは、警報が発表されたときや、強い雨が降ってきたときに、どこで土砂災害や浸水害、洪水災害の危険度が高まっているかを知ることができる命を守るための情報です。



図のようにキキクルでは、現在の土砂災害などの危険度を確認することが出来ます。
キキクルの QR コードのシールも作成しているマイ・ハザードマップに貼り付けましょう！

【キキクル】

愛知県における土砂災害の事例

【平成元年９月台風 22 号】
旧旭町の土砂災害

豊田市下切町地内　稲場区域の状況です。

豊田市浅谷町地内　中屋洞

豊田市浅谷町地内　中屋洞の状況　中央手前にはつぶれた建物の屋根が、右手には押し流されたマイクロバスが見えます。

台風 22 号の影響で、愛知県は三河山間部を中心に激しい雨に見舞われました。特に旧東加茂郡旭町小渡では、時間最大雨量 95 ミリという記録的な集中豪雨となり、各所で土石流や山崩れが発生する災害となりました。

- 死者行方不明者：１名
- 全壊家屋：18 戸

豊田市小渡町地内　寺山沢　道路はすっかり土砂で覆われ、一抱えもある石や自動車が押し流されたことが伺えます。

【出典】愛知県 HP：https://www.pref.aichi.jp/soshiki/sabo/0000021335.html

土砂災害
マイ・ハザードマップ
作成説明書

2021年11月

発行 ： 愛知県砂防課

〒460-8501 名古屋市中区三の丸1番2号

TEL.052-954-6560

FAX.052-972-6418